よくわかる ことしの 中標津づくり

令和２年度主要施策概要（予算説明書）

ごあいさつ

町民の皆さんには、日頃から町政運営に対して深いご理解とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。

このたび、今年度に実施する町の事業を皆さんにわかりやすくお知らせし、町政に対して更に理解をいただくために、主要施策概要『よくわかることしの中標津づくり』を作成しました。

今年度は「第６期中標津町総合発展計画・後期基本計画」の最終年として、時代の変化を的確に捉えるとともに、歳入歳出のバランスを図ることを念頭に、施策本来の目的と効果を再検証し、緊急度や優先度を充分検討した予算内容としております。

現在、来年度から始まる第７期の総合計画策定を進めているところでありますが、現行計画の検証結果を踏まえた上で、自治基本条例に則り、町民、議会及び行政が一体となって策定にあたってまいります。子どもたちが夢を持てるような未来のある中標津町にするため、今まで作り上げた本町の持つ利便性、住みやすさをさらに追及し、バランスの良いまち、「住みやすさNo.1のまち」を目指して町民の皆さんとともにまちづくりを進めていく所存でございます。

今後のまちづくりにおいては、町民と行政がより一層協力し合い、共に知恵を出して行動する協働の取組みが必要です。本書が皆さんのまちづくりの議論や活動の素材として、ご活用いただけることを願っております。

令和2年4月　　中標津町長　西　村　　穣

中標津町の予算の全体像

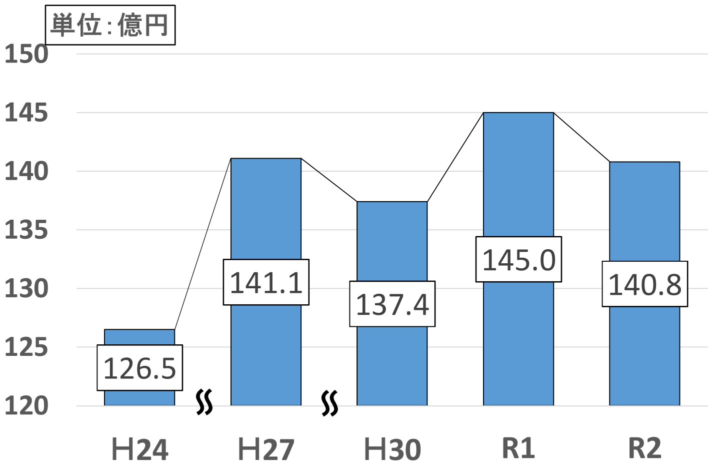
空とみどりの交流拠点
中標津
～あつまるまち つながるまち ひろがるまち～

◇ 令和２年度予算について

借入金の増加や町の貯金の減少により、これまでの行財政運営を維持していくことが困難な状況であることから、人口減少を見据えた事業の見直しや徹底した歳出の削減及び歳入確保の取り組みを念頭に、事業の優先度や効果を充分検討し、住みやすさNo.1を目指した予算となりました。

＜予算額＞

会計区分		令和2年度予算額	令和元年度予算額	伸率
一般会計（A）		140億8,000万円	144億9,600万円	△2.9%
特別会計	国民健康保険事業特別会計	27億5,681万円	27億2,770万円	1.1%
	後期高齢者医療特別会計	2億8,439万円	2億6,805万円	6.1%
	介護保険事業特別会計	15億6,340万円	15億7,194万円	△0.5%
	町営牧場特別会計	6,375万円	7,804万円	△18.3%
	下水道事業特別会計	11億5,179万円	10億1,124万円	13.9%
	簡易水道事業特別会計	5億6,413万円	4億4,716万円	26.2%
	小計（B）	63億8,427万円	61億 413万円	4.6%
企業会計	病院事業会計（C）	48億2,382万円	47億6,930万円	1.1%
	水道事業会計（D）	9億7,591万円	10億 402万円	△2.8%
予算総額（A＋B＋C＋D）		**262億6,400万円**	**263億7,345万円**	**△0.4%**



◇ これまでの予算の推移について

平成27年頃まで総合体育館や計根別学園などの大型施設整備に伴い、平常時の平成24年と比べると予算が約15億円ほど高い状態になっていました。

事業が終了した後も多種多様な行政課題に対処するため支出が高水準になってしまい、収入が不足することから借入金や貯金の取り崩しで対応しています。

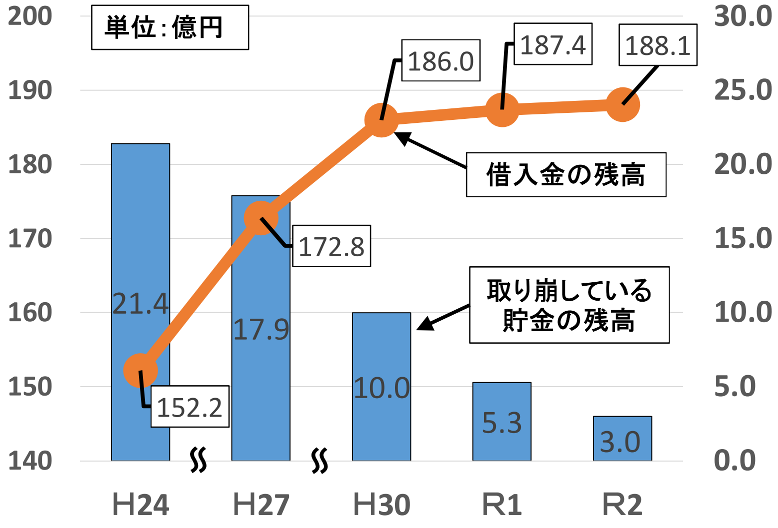
今後は真に必要となる事業を取捨選択し、より効率的で効果的な行財政運営を進めていきます。

◇ 借入金や貯金の状況について

平成24年度には約21億円あった貯金（財政調整基金・減債基金）も令和2年度末の見込みでは約3億円まで減少しています。

借入金も平成24年度と比べると約30億円増加しており過去最高の残高となっています。

貯金と借入金のバランスが非常に悪いため、借入の抑制や安定した貯金の積立てを行い、大規模災害などの不測の事態に迅速に対応できるよう柔軟な行財政運営を進めていきます。



空とみどりの交流拠点
中標津
～あつまるまち つながるまち ひろがるまち～

ことしの事業概要について

第6期総合発展計画では、まちづくりの基本理念として「自然と暮らし」、「中標津らしさ」、「連携と協働」を掲げ、まちの将来像である「 空とみどりの交流拠点・中標津 」の実現に向け、6つの分野からなる基本目標の達成のため各種施策に取り組んでいきます。今年度に取り組む全265事業のうち、主な事業を抜粋してお知らせします。

基本目標１　～参画と協働で未来を築くまちづくり～

新規事業・拡充する事業

上段:事業費
下段:町負担額

新 日本語学校誘致・共生社会推進事業（経済振興課）
183万円
町133万円

日本語学校の誘致に取り組み、外国人留学生や町内在住技能実習生と町民の交流を通じ、相互理解を深めると共に地域の魅力を世界に発信します。
◇日本語学校誘致対策、留学生招へい・交流事業、外国人住民との交流事業　他

新 コミュニティセンター等整備事業（子育て支援室）
2,024万円
町2,024万円

老朽化等の進むコミュニティ施設の整備を行います。
◇西児童館機能移転（旧泉保育園施設活用）、なかよし児童館屋根改修、わんぱく児童館解体

拡 移住促進事業（経済振興課）
238万円
町163万円

移住を検討されている方への「お試し暮らし」に取り組むほか、今年度から新たに東京圏からUIJターン移住後に就労した場合に補助金を交付し、交流人口拡大と地域経済活性化を図ります。

主な継続事業

事業名	事業費	内容
第7期総合計画等策定経費（企画課）	565万円 町565万円	第6期総合発展計画は令和2年度に最終年を迎えることから、令和3年度を始期とする第7期総合計画を策定します。あわせて、人口減少対策に特化した中標津町まち・ひと・しごと創生総合戦略について令和3年度から始まる第2期戦略を策定します。
北海道日本ハムファイターズパートナー協定推進事業（企画課）	109万円 町59万円	町と北海道日本ハムファイターズが平成30年11月に締結したパートナー協定に基づき、スポーツ、観光、食・健康の3分野において連携協力し、イベントなどを開催します。（協定期間：平成31年1月1日～令和3年12月31日）
協働のまちづくり推進事業（企画課）	70万円 町70万円	「まちづくりの主役は町民である」という事を基本として、町民と行政が共に考え行動し互いの理解を深め、「協働で進めるまちづくり」の実現に取り組みます。
自治基本条例推進事業（企画課）	19万円 町19万円	自治推進会議を開催し、自治基本条例の運用状況等を検証します。
地域間交流促進事業（経済振興課）	162万円 町162万円	東京・札幌中標津会の活動支援や川崎市との交流等の地域間交流活動の推進を図ります。
大学交流推進事業（企画課）	50万円 町50万円	町外に住む大学生などを積極的に町に招き、町民との交流活動等を通じて、次世代を担う地域の人材育成や交流人口・関係人口の増加を図ります。
北方領土対策のための経費（企画課）	1,408万円 町93万円	外務省の北方四島住民人道支援事業により、北方領土在住ロシア人患者を町立中標津病院で受け入れるほか、領土問題の啓発・返還運動を推進し共同経済活動に積極的に取り組みます。

※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新:新規事業　拡:拡充事業　町:町負担額

町有建物解体整備のための経費（生活課・教委管理課）	2億5,345万円 町2億5,345万円	町内の老朽化した施設を計画的に解体します。 （教職員住宅・旧清掃センター解体工事・北進台公衆便所解体工事）

〈根室管内市町連携協定事業〉
　平成29年1月に根室管内1市4町で締結した「根室管内市町連携に関する協定」に基づき以下の5事業を連携して実施し、効率的な行政サービスの提供に努めます。
○新規就業・就農PR　○インカレねむろ推進　○教育旅行誘致推進
○移住促進　○広域連携観光PR

◆「参画と協働で未来を築くまちづくり」に係る補助・助成制度（抜粋）　（単位：万円）

名称	担当課	予算額	内容
フロンティア事業推進補助金	経済振興課	50	地域活動のリーダー育成や住民参加のまちづくり推進等の取り組みを一部補助
地方創生移住就労支援事業補助金	経済振興課	100	東京圏からUIJターン移住後に就労した方への補助
社会貢献活動原材料支給制度	企画課	40	企業・町内会・町民活動団体による社会貢献活動への支援

基本目標２　～健やかでやさしいまちづくり～

新規事業・拡充する事業

拡　各種健康診査・相談等事業（保健センター）　3,248万円　町2,375万円

　今年度より新たに新生児聴覚検査の費用を助成し、経済的負担の軽減を図ることにより、新生児の聴覚障害の早期発見・早期療育を行い、聴覚障害による言語発達等への影響を最小限に抑えます。また、退院直後の母子の心身ケアや育児サポートを行う産後ケア事業についてデイサービス型の充実を図り、活用しやすい制度へ見直します。
◇健康診査・検診～妊婦健康診査・産婦健康診査、乳幼児健康診査や歯科健康診査、新生児聴覚検査、
　産婦健康診査、産後ケア事業（宿泊型、デイサービス型）、
　がん検診（胃・肺・大腸・子宮頸・乳）、医療保険未加入者の健康診査、
　肝炎ウイルス検査
◇相談、家庭訪問～各種相談（妊産婦・乳幼児・歯科・栄養・成人等）、家庭訪問
◇教室、学習会の開催～パパママ教室、離乳食教室、出前健康教室、結果説明会　他

新　障がい者計画・障がい福祉計画策定事業（福祉課）　264万円　町264万円

　個人の自立と社会参加、地域社会における「共生」が促進されるまちづくりを目指し、障がい者福祉施策の基本となるべき障がい者計画（平成30年度～令和5年度）の中の生活支援策について具体的に記載する「第6期障がい者福祉計画」と「第2期障がい児福祉計画」を一体的に策定します。（計画期間：各3年間）

新　公的介護施設等基盤整備事業（介護保険課）　1，955万円　町0万円

　認知症高齢者グループホームが、停電時に施設機能を維持するための電力確保ができるように、充分な容量のある非常用自家発電設備の整備を行います。（4事業所）

〈子育て世代包括支援センター事業〉
　妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や地域の保健医療等との連絡調整を行い、母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持並びに増進に関する包括的な支援を行うことにより、包括的な切れ目のない支援を提供する体制を構築します。

※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新：新規事業　拡：拡充事業　町：町負担額

主な継続事業

事業名	予算額	内容
子どものための教育・保育経費（子育て支援室）	4億6,301万円 町1億2,577万円	認定こども園及び泉保育園の運営費・人件費などに対する経費です。また、昨年10月より幼児教育無償化に伴う認可外保育施設等利用保護者への施設等利用料分の給付を行っています。
子ども・子育て支援事業（子育て支援室）	1,706万円 町571万円	子どもの年齢や親の就労状況などに応じた子育て世帯への支援を実施します。（幼稚園型一時預かり事業、一般型一時預かり・ファミリー・サポート・センター事業、病児保育事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業　他）
子育て世帯のための扶助（子育て支援室）	3億9,358万円 町7,612万円	児童手当扶助や各種医療扶助などを実施し、子育て世帯にかかる経済的負担を軽減します。（児童手当扶助、ひとり親家庭等医療扶助、乳幼児医療扶助、未熟児養育医療扶助）
児童館運営管理経費（子育て支援室）	6,215万円 町1,255万円	中標津町児童センター「みらいる」やその他の4児童館において、放課後児童クラブ開設や、子育て相談や子育てサークルへの支援、チャイルドアドバイザーや菜園等地域と連携した事業を実施するほか、計根別地区では児童館と一時預かり保育機能を集約した子育て支援拠点施設「えみふる」を運営します。
高齢者の自立への支援（福祉課）	1,680万円 町1,346万円	「高齢者が生きがいを感じ、ともに支えあい、安心して暮らせるまちづくり」の実現のために高齢者に対する各種支援を行うとともに、65歳以上で自立生活が困難な方の養護老人ホーム入所生活費を支援します。
介護保険事業特別会計（介護保険課） 	15億6,340万円	◇保険事業： ・第１号被保険者数：6,113名 要介護認定者数：882名 （要支援232名、要介護650名） ・介護予防・日常生活支援総合事業（いきいき百歳体操、通所型サービス） ・包括的支援事業（認知症初期集中支援チーム活動） ・第8期介護保険事業計画策定　他 ◇サービス事業：介護予防支援事業所事業運営費
介護人材確保育成支援事業（介護保険課）	527万円 町160万円	町内の介護人材不足解消のため、介護福祉士実務者研修を開催するとともに、在宅介護のヘルパー増員のために必要となる介護職員初任者研修講座を開催します。
成年後見事業（介護保険課・福祉課）	788万円 町242万円	認知症・知的障がい・精神障がい等により判断能力が十分でない方が、成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行います。
障がい者地域生活支援事業（福祉課） 	1,790万円 町770万円	だれもが生き生きと暮らせる地域社会の実現を目指すため、介護保険の対象とならない障がい者や障がい児が適切な支援を受けられる環境の整備を行います。 ◇訪問入浴サービス、在宅福祉移送サービス、日中一時支援、コミュニケーション支援、障がい者移動支援、地域活動支援センター事業、障がい者日常生活用具給付　他
障がい者世帯のための扶助・補助（福祉課）	6億858万円 町1億5,822万円	障がい者総合支援法に基づく自立支援、身体障がい者・精神障がい者・重度知的障がい者の方の医療費一部支援、グループホームに入所した障がい者の生活費支援を行います。
健康増進のための経費（保健センター・生涯学習課） 	100万円 町100万円	町民が健康な生活を送ることができるよう生活習慣病予防、食中毒や熱中症、感染症予防等の啓発を図るとともに、「なかなか健康なかしべつ」の各種健康教室と運動教室等を総合体育館と連携して実施するほか、「なかなか健康なかしべつポイント」事業を実施します。

※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新：新規事業　拡：拡充事業　町：町負担額

地域自殺対策強化事業
（保健センター）

30万円
町1万円

「誰も自殺に追い込まれることのない中標津町」を目指し、悩んでいる人に気付き声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげることのできるゲートキーパーの養成講座をはじめとした人材育成や、各種相談、周知活動を行います。

予防接種等のための経費
（保健センター）

5,754万円
町5,274万円

各種予防接種を行い、感染の恐れがある疾病発生やまん延を予防します。

病院事業会計
（町立病院）

48億2,382万円

◇診療科　14科
◇病床数　一般180床，療養19床，
　人工透析23床
◇医師数20名（常勤15名，会計年度任用職員5名）

【主な設備・機器整備】
◇医療機械器具等購入（3,470万円）
　電子内視鏡システム等
◇施設老朽化改修工事（3,960万円）
　ボイラー配管更新工事
◇病院経営改善支援委託（1,232万円）
◇病院施設省エネ推進事業（749万円）

看護職員等確保対策経費
（町立病院）

1,742万円
町1,742万円

町立中標津病院における看護職員等の充実を図るため、資金貸付や就職説明会でのＰＲ活動等を行います。

国民健康保険事業特別会計（住民保険課）

27億5,682万円

被保険者見込：5,287名（平均）
◇国保特定健診・保健指導事業
　特定健診受診率向上支援等共同事業（国保連合会との連携による受診勧奨）、健診自己負担額の無料化、健康かるてシステム導入、なかなか健康なかしべつポイント実施 他
◇健康づくり推進事業
　国保人間ドック健診、骨粗しょう症検診、歯科疾患予防　他

後期高齢者医療特別会計
（住民保険課）

2億8,438万円

75歳以上の方と65歳以上で一定の障がいのある方を対象とした医療制度です。（被保険者見込：2,880名）

後期高齢者医療に関連する経費（住民保険課）

1億6,591万円
町1億6,376万円

療養給付費負担金・健診検査実施、健診・骨粗しょう症検診の自己負担額を無料化、人間ドック受診費用への補助

◆「健やかでやさしいまちづくり」に係る補助金・助成制度（抜粋）　（単位：万円）

名称	担当課	予算額	内容
特定疾患等患者通院交通費補助金	福祉課	140	特定疾患等により町外の医療機関に通院している方の交通費を補助
地域福祉事業推進補助金	福祉課	10	在宅福祉の向上、ボランティア活動の活性化等に取り組む民間団体を補助
特定不妊治療費助成金	健康推進課	70	特定不妊治療を受けた方への負担軽減として北海道補助に上乗せ補助

基本目標３　～力みなぎる産業のまちづくり～

新規事業・拡充する事業

新　**私有林等整備促進事業**
（農林課）

301万円
町301万円

森林環境譲与税を活用し私有林の整備促進のための各種事業に取り組みます。

◇森林経営管理事業
　～経営管理されていない私有人工林所有者への意向確認調査を実施します。
◇中標津町私有林整備事業補助
　～森林整備の量を増加させるための補助要件を緩和させた町単独の補助事業です。
◇緑化推進事業（植樹祭）
　～植樹祭、赤ちゃん植樹、秋の植樹等を実施します。
◇北海道林業・木材産業人材育成連絡協議会賛助金
　～北の森づくり専門学院学生を支援します。

※森林環境譲与税とは
　～温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等のため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、国会で成立した森林経営管理法を踏まえ平成31年4月に創設されました。

※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新：新規事業　拡：拡充事業　町：町負担額

新 林業行政の強化にかかる経費（農林課）

340万円
町310万円

林業行政においては、業務の多様化及び高度な専門性を要することから「地域林政アドバイザー制度」を活用し、専門的知見を有する中標津町森林組合から総合的な支援を得て、林業行政の実施体制の強化を図ります。
◇業務内容：造林地測量、間伐標準調査、収穫量調査、森林経営計画策定、森林経営管理制度事務、森林整備工事設計　他

拡 知床・地方版図柄入りナンバープレート導入事業（経済振興課）

28万円
町0万円

知床・地方版図柄入りナンバープレートの導入周知・啓発としてナンバープレートの公用車導入やその他周知活動に取り組みます。※令和2年5月11日交付開始。

新 地域雇用活性化推進事業（経済振興課）

370万円
町18万円

根室管内4町の連携で、地域の創意工夫のもと各種セミナーの開催など事業所の魅力向上、人材育成・求職者と企業を結び付ける取組を実施し、ひがし北海道エリア、南知床地域の雇用対策・地域活性化に取り組みます。（令和元年～3年度厚生労働省受託事業）

主な継続事業

町産食材の消費拡大のための経費（農林課）

105万円
町105万円

牛乳消費拡大推進委員会への負担金を支出し、イベント会場等での牛乳･乳製品のPR販売や牛乳消費拡大応援条例PRを行うほか、地産地消推進協議会への負担金を支出し、中標津丸ごと給食や地産地消イベントを実施します。

農業高収益化のための経費（農林課）

9億479万円
町0万円

地域の関係者が連携して地域全体の収益力を高める取組について、中心的な役割を担う畜産経営体等の施設等を整備する取組を支援し、地域の畜産の収益性の向上を図ります。（中標津町農協畜産クラスター協議会／畜舎・搾乳ロボット等整備　他）

新規就農者対策事業（農林課）

641万円
町22万円

◇新規就農者育成支援事業（602万円）
～新規就農者に対し担い手育成として費用の一部負担等の支援を行います。
・農地保有合理化事業利子補給金：新規就農者の農場リース資金利子補給
・農業次世代人材投資事業補助金：就農後（5年）の所得確保のための給付金

◇新規就業・就農PR事業（39万円）
～ 全国規模の総合就農相談イベント「新･農業人フェア」に参加し、就業・就農に向けたＰＲ活動や移住相談を実施します。

農業基盤整備のための負担金（農林課）

1億4,343万円
町8,473万円

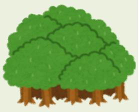
◇草地整備
・計根別北部地区～総事業費：1億3,000万円　草地整備168.6ha、測量試験一式
・中標津中部地区～総事業費：7,520万円　草地整備135.8ha

◇農地整備
・俵橋第2地区～総事業費：1億6,600万円　舗装795m、防雪柵406m
・南1号第2地区～総事業費：300万円　石杭埋設

◇農道整備
・協和30線地区～総事業費：8,500万円　舗装650m、大型視線誘導標20基

※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新：新規事業　拡：拡充事業　町：町負担額

町営牧場特別会計 （農林課） 	**6,375万円**	◇放牧対象：生後6ヶ月以上の乳用牛（延入牧頭数12万1,803頭） ◇放牧期間：5月25日～10月25日予定（154日間） ◇開陽台牧場の草地の生産機能の低下に伴い、草地の基盤整備と付帯施設の整備を実施しています。 ・草地整備57.3ha、構内舗装2,108㎡ 他 事業費:4,700万円（町負担額1,175万円）
バイオガス導入促進のための経費（農林課）	**14万円** 町14万円	家畜ふん尿臭気対策はもとより、循環型農業の推進となる良質な液肥や再生可能エネルギーの生産を視野に入れ、酪農関係者への理解促進を図ります。
森林管理・保護のための経費（農林課）	**5,874万円** 町2,489万円	森林所有者に対し森林整備や植林への負担軽減として支援を行うとともに、農業者との河川環境保全に向けた広葉樹植樹活動を実施します。
木材利用推進事業 （農林課）	**26万円** 町26万円	地域の優良カラマツ材の公共建築物等への積極的な利用検討を行い、伐期を迎えた大口径カラマツを“地域材”として有効活用の促進を図ります。
町有林間伐促進型CO2排出削減対策事業（農林課）	**186万円** 町186万円	J-クレジット制度（カーボンオフセット）に係る販売促進のため、PR活動や企業との個別交渉に取り組みます。
中小企業振興基本条例推進事業（経済振興課）	**17万円** 町17万円	地域中小企業への施策の推進や地域経済の活性化等を目的とする中小企業振興基本条例に基づき、具体的な施策などを検討します。
商工業に対する支援 （経済振興課） 	**896万円** 町746万円	◇中小企業融資保証料補助（446万円） ～中小企業運営資金貸付金の借入れに伴う北海道信用保証協会への保証料補助。（2分の1補助 ※初めて制度利用する場合は初年度全額補助） ◇中小企業応援事業補助（120万円） ～既存企業の店舗や設備等を改修する費用を一部補助。 ◇空き地空き店舗等活用事業（150万円） ～都市計画区域内の用途地域内で、空き地空き店舗等を活用し創業する起業家へ開業関連経費の一部を補助。 ◇商工会青年部･女性部対策事業補助（24万円） ～商工業の若手後継者育成･資質向上活動に対する補助。 ◇商工業振興推進補助（156万円） ～商工会が実施する商工業振興推進事業に対する補助。 （地域商店街活性化対策、雇用向上育成対策　など）
特産品PR強化事業 （経済振興課）	**20万円** 町20万円	「なかしべつブランド」の更なる研究を行い、地元特産品の付加価値値向上を目指します。
ふるさと応援制度推進事業（企画課）	**6,718万円** 町6,718万円	ふるさと納税制度を通じた地域資源の活用と寄附者とのつながりを持続する取組を推進します。
観光振興のための経費 （経済振興課） 	**1,383万円** 町1,358万円	◇観光諸行事のための経費（1,032万円） ～夏祭り･冬まつり、標津岳･武佐岳山開きなど観光諸行事開催のための経費です。 ◇広域連携観光PR事業（301万円） ～自治体・観光協会・商工会などの団体で構成し、広域観光に取り組む団体への負担金です。（根室観光連盟負担金、阿寒摩周国立公園広域観光協議会負担金、ひがし北海道自然美への道ＤＭＯ負担金） ◇根室管内教育旅行誘致推進協議会負担金（50万円） ～根室地域への教育旅行誘致推進のため、1市4町で組織された根室管内教育旅行誘致推進協議会への負担金です。
地域おこし協力隊設置事業 （経済振興課）	**2,200万円** 町2,197万円	都市地域に住む人材を地域の新たな担い手として招き、主に観光分野の活動を通じて外部目線による新たな観光資源の発掘やPR活動を実施し、本町の観光振興を図ります。

※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新:新規事業　拡:拡充事業　町:町負担額

空港利用促進対策事業（空港対策室）

1,682万円
町1,132万円

路線の維持・拡大に向けた取組のほか、中標津空港の更なる利用促進に取り組みます。（要請活動・普及啓発活動・新規路線就航誘致活動　他）

雇用確保対策のための経費（経済振興課）

15万円
町15万円

季節労働者の雇用確保･就職促進に向けた取り組みのための、通年雇用促進協議会への負担金です。

◆「力みなぎる産業のまちづくり」に係る補助金･助成制度（抜粋）　（単位：万円）

名称	担当課	予算額	内容
森林整備事業補助金	農林課	759	公共補助事業による民有林整備の自己負担分への補助
未来につなぐ森づくり推進事業補助	農林課	683	公共造林事業により実施した植林について、所有者の負担軽減のための補助
森林環境保全直接支援事業	農林課	4,290	面的なまとまりをもって持続的な森林経営をする森林所有者への支援

基本目標４　～利便性のある調和のとれたまちづくり～

主な継続事業

都市総合計画推進業務（都市住宅課）

1,763万円
町1,763万円

第２次都市計画マスタープラン（2021～2040年度）策定業務、都市マス策定委員会開催、都市マス通信発行、都市計画図修正委託業務　他

空家対策のための経費（都市住宅課）

0万円
町0万円

空き家を考えるセミナー開催（北海道との共催事業）

景観形成推進のための経費（都市住宅課）

62万円
町62万円

景観形成推進事業補助（良好な景観形成を図るために、町が認定した景観形成団体の活動に対し補助）

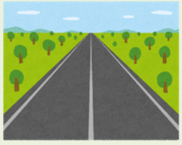
道路整備事業（改良･舗装）（建設管理課）

2億8,430万円
町2億2,670万円

（市街地）

市街地道路簡易舗装事業　簡易舗装1路線307m、測量・設計1路線197m　他

（郊外地）



俵橋南３号道路整備事業　路盤150m、舗装120m、土地購入　他（俵橋17線付近～16線付近間）
豊岡35線道路整備事業　路盤･舗装120m（0号付近～南1号付近間）
保落30線道路整備事業　路盤230m、舗装100m、土地購入　他（29線付近～30線付近間）
西竹38線連絡道路整備事業　路盤･舗装130m　他（北21号付近～北22号付近間）
開陽26線道路整備事業　路盤100m、舗装207m　他（りんどう町北8号～北9号付近間）
西竹48線道路整備事業　路盤100m、舗装186m、土地購入　他（道道上武佐計根別停車場線～北15号付近間）

橋梁の点検･修繕にかかる経費（建設管理課）

9,427万円
町4,207万円

町が管理する老朽化した橋の予防的な修繕や計画的な架替えにより長寿命化を図るほか、中標津建設業協会との協働で講習会を開催し、通常点検や災害時の緊急点検に備えた技術力向上を図ります。（橋梁補修：東橋、実施設計：清翠橋・瑞雲橋）

除雪･防雪にかかる経費（建設管理課）

2億9,979万円
町2億3,037万円

◇除雪経費、除雪体制強化経費（車両位置装置･防雪柵設置等）
◇除雪機械購入（除雪トラック2台、グレーダ1台、機械格納庫B棟実施設計）
◇上標津北14号道路防雪柵 柵設置130m（54線付近～55線付近間）
◇武佐北11号道路防雪柵 柵設置130m、資材実勢価格調査（18線～開陽19線道路間）

生活等バス運行のための経費（生活課）

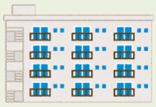
7,900万円
町3,387万円

地域住民の生活の足を確保するため、町有バス3路線（俣落線･武佐線･養老牛線）の運行と共に、民間バス事業者への補助を行います。

公営住宅整備事業（都市住宅課）

2億7,500万円
町1億4,875万円

まちなか居住の推進と良好な住環境の形成を図るため、「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化している町営住宅の建替え工事を進めています。
今年度は泉団地･東中団地の整備を行います。
◇泉団地外周道路改良工事（5,000万円）
◇東中団地建築工事･監理委託（2棟8戸：2億2,500万円）



大規模盛土造成地変動予測調査事業（都市住宅課）

480万円
町240万円

これまで全国各地で発生した大規模地震では、谷や沢を埋めた大規模盛土造成地で滑動崩落による被害が多発したことから、国のガイドラインに沿って抽出された箇所の詳細調査計画を策定します。

※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新：新規事業　拡：拡充事業　町：町負担額

公園整備事業 （建設管理課）	5,763万円 町2,913万円	利用者の安全性確保・向上のため、公園の遊具等を計画的に整備します。 （緑ヶ丘森林公園木道更新工事、公園長寿命化計画見直し策定　他）

◆「利便性のある調和のとれたまちづくり」に係る補助金・助成制度（抜粋）　（単位：万円）

名称	担当課	予算額	内容
地域まちづくり事業補助金	都市住宅課	30	都市計画ﾏｽﾀｰﾌﾟﾗﾝの地域別構想実現に向け地域住民が取り組む活動へ補助

基本目標５　～安全・安心で快適なまちづくり～

新規事業・拡充する事業

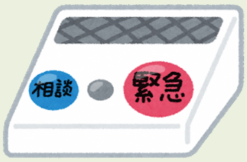
拡　防災対策・危機管理対策にかかる経費（総務課・企画課）　1,638万円　町1,547万円

町民の防災力向上と防災意識の啓発を図るため、町･関係機関･町民等が一体となった防災体制の確立に努めます。また、国土強靭化基本法に基づき、大規模自然災害に備え、事前防災・減災と迅速な普及・復興のための計画「中標津町強靭化計画」を策定します。

◇防災備蓄品･防災資機材整備、防災の日啓発、防災訓練実施、中標津町強靭化計画策定　他

新　NET119緊急通報システム構築事業（中標津消防署）　53万円　町53万円

火災や救急事案の発生時に聴覚・言語機能障がい者がいつでもどこからでもスマートフォン等から緊急通報を行えるよう、インターネットを活用した音声によらない緊急通報システムを導入します。



主な継続事業

安全で住みよいまちづくりのための経費（生活課）　2,554万円　町2,554万円

◇防犯対策
～悪質・巧妙化する犯罪の未然防止に努めます。（防犯灯維持、啓発等）
◇交通安全対策
～指導員配置など啓発に取り組みます。（交通安全灯維持、啓発等）
◇安全で住みよいまちづくり推進協議会運営経費
～町民が安心して暮らせる地域社会の実現に取り組みます。（町内会・学校・警察・暴力追放運動推進協議会等と連携、啓発等）

事業	予算額	内容
消費者対策のための経費 （生活課）	566万円 町316万円	消費生活相談員の資質向上と相談体制の充実･強化を図り、消費者被害の未然防止に努めます。（相談業務、啓発等）また、弁護士による無料法律相談を年3回開催します。
有害鳥獣対策のための経費 （農林課）	535万円 町482万円	エゾシカ駆除報償金（750頭分）、駆除処理･運搬費用負担、熊･カラス駆除経費、猟友会中標津部会補助金
環境保全推進事業 （生活課）	104万円 町104万円	排水や家畜ふん尿などによる河川水質への影響を調査するほか、摩周湖の環境保全のためモニタリング調査を行います。

ごみ処理･対策にかかる経費（生活課）　7億418万円　町5億9,287万円

◇根室北部廃棄物処理広域連合負担金（4億7,915万円）
～根室管内4町で構成している広域連合への負担金です。

◇一般廃棄物処理経費（2億1,840万円）
～一般廃棄物の収集･処理委託費及び最終処分場の維持管理経費、指定ごみ袋作成経費、広域連合焼却施設への可燃ごみの運搬経費です。

◇ごみ減量･リサイクル促進のための経費（663万円）
～ごみ分別収集の実施や分別排出の啓発、生ごみ減量化促進に取り組みます。

※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新：新規事業　拡：拡充事業　町：町負担額

水道事業会計
（上下水道課）　9億7,591万円

上水道区域（主に市街地）へ給水。給水戸数10,026戸
◇漏水調査業務（中標津市街地　戸別音聴3,650戸）
◇配水管整備（1億6,535万円）
　～南3号道路配水管改修456m(南3号道路13～14線)、
　　西町通配水管改修882m(西町3～7丁目)　他

◇浄水場施設整備事業（2億1,600万円）
　～水処理沈殿池機械設備更新・水槽防水塗装工事、
　　高区第1配水池耐震補強実施設計　他

※水道料金改定について
　～営農用区分の超過料金70円（1㎥増毎）について、
　　令和2年7月より105円（+35円）に、
　　令和3年4月より140円（+35円）に段階的に改定予定。

下水道事業特別会計
（上下水道課）　11億5,179万円

下水道整備面積886.5ha、日最大処理能力11,425㎥
◇下水道管路施設修繕工事（280万円）
　～不明水対策（西町・清泉地区、人孔・汚水桝）

◇公共下水道事業（3億6,622万円）
　～下水終末処理場設備更新工事、白樺マンホールポンプ更新工事、下水道管移設工事（西町通 西町6丁目～川西2丁目）、公共汚水桝新設工事 16箇所（中標津市街地）他
◇地方公営企業法適用化事業（1,652万円）
　～基本方針の策定、固定資産の現状調査・台帳整備 他

簡易水道事業特別会計
（上下水道課）　5億6,413万円

簡易水道区域（主に郊外地域）へ給水。給水戸数1,068戸
◇浄水施設更新事業（5,600万円）
　～中標津町水道施設電気計装設備外更新工事
◇配水施設整備事業（1,692万円）
　～計根別第14支線配水管改修工事360m
◇道営畑地帯総合整備事業負担金（西竹地区）
　（2億1,658万円）
　～道事業費：7億1,926万円
　　西竹浄水場設備更新、配水管路改修3,000m、
　　給水管接続 他

◇地方公営企業法適用化事業（2,312万円）
　～基本方針の策定、固定資産の現状調査・台帳整備　他

※水道料金改定について
　～営農用区分の超過料金70円（1㎥増毎）について、
　　令和2年7月より105円（+35円）に、
　　令和3年4月より140円（+35円）に段階的に改定予定。

◆「安心・安全で快適なまちづくり」に係る補助金・助成制度（抜粋）　（単位：万円）

名称	担当課	予算額	内容
既存住宅耐震改修費補助金	総務課	89	住宅の耐震改修・補強設計・耐震診断費用の補助(昭和56年5月31日以前着工住宅)

基本目標６　～人が輝き歴史と文化を育むまちづくり～

新規事業・拡充する事業

新　教職員の勤怠時間適正化に係る経費
（教委管理課）　54万円　町54万円

教職員の勤務時間の適正管理については、指紋認証により客観的な記録等で出退勤時間の把握をし、管理するシステムを導入します。

拡　計根別幼稚園運営管理経費
（学校教育課）　1,167万円　町1,165万円

計根別幼稚園の運営管理に要する経費です。今年度より子育て支援の充実に向け下記のとおり園の運営について改善を行います。
・入園条件の変更～満3歳児からの入園を可能とします。
　（令和2年度中に体制が整い次第実施）
・お迎え時間の変更～17時まで対応します。
　（30分延長、令和2年度中に体制が整い次第実施）

※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新：新規事業　拡：拡充事業　町：町負担額

新 **文化財等の保存・活用に係る経費**（生涯学習課）　**1,023万円** 町638万円

町内に所在する指定・未指定文化財を総合的に調査・把握し、保存・活用の促進を目的とした文化財保存活用地域計画を策定します。また、地域おこし協力隊を採用し、計画策定業務体制の強化を図ります。

主な継続事業

児童生徒の教育環境整備のための経費（教委管理課・学校教育課・生涯学習課）　**1億1,230万円** 町1億1,079万円

◇教育力向上推進事業（257万円）
・学力向上推進事業
　～小中学校の児童生徒の学力向上に向け、全小中学校標準学力調査(CRT)を行い、児童生徒の学力を把握し、学習指導･授業改善に役立てます。
・小中一貫校推進事業
　～全小中学校へ小中一貫教育を導入するため、既に導入している計根別学園における課題を検証すると共に指導方法等の実践研究をします。
・コミュニティ・スクール運営
　～全小中学校でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入し、学校と保護者、地域住民等が一体となって学校運営改善や児童生徒の健全育成に取り組む環境を整えます。

◇特別支援教育支援員配置経費(2,776万円)
　～要支援児童･生徒の学習や学校生活の介助･安全確保のため支援員を配置します。

◇語学指導等外国青年招致事業(1,207万円)
　～学習指導要領改訂により、小学校英語学習の教科化や授業時間が拡大するため、英語指導助手(AET)2名体制で児童生徒の英語力向上を図ります。

◇児童生徒の安全安心サポート事業（103万円）
　～児童生徒が抱える諸問題に対応するためスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを配置します。また、学校･通学路の安全確保のため、スクールガードリーダーの学校巡回指導を行います。

◇地域学校協働本部事業（3万円）
　～地域全体の学校活動支援として、ボランティアを派遣します。

◇広陵中学校長寿命化改良事業（6,884万円）
　～老朽化の著しい広陵中学校校舎の全面改修を行い安全安心な施設にするとともに、近年の多様な学習内容・形態に対応した教育環境の質の向上を図ります。今年度は実施設計・外構改修設計・地質調査を行います。

町立学校記念行事開催事業(教委管理課)	**10万円** 町10万円	中標津農業高等学校70周年・体育館落成記念式典の開催経費です。
義務教育扶助費(小･中学校)（学校教育課）	**3,541万円** 町3,311万円	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し扶助を行います。 ◇学用品費、修学旅行費、体育実技用具費、医療費、新入学児童生徒学用品費　他
育英資金貸付事業（教委管理課）	**395万円** 町76万円	義務教育の課程を修め、学術優秀で向学意欲ある町民が義務教育以上の教育を受ける場合に学資の貸付を行います。また、入学一時金の貸付制度も行います。
スクールバス等運行のための経費(学校教育課)	**1億2,042万円** 町1億2,042万円	小中学校の統廃合に伴う児童･生徒の通学のため、スクールバスなどを運行します。（スクールバス･ハイヤー13路線、教育振興車輌運行）

※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新:新規事業　拡:拡充事業　町:町負担額

事業名	予算額	内容
農業高校生徒の修学支援のための経費（農業高校） 	**3億7,413万円** 町2億9,215万円	≪町立中標津農業高校修学支援による人材育成プロジェクト≫ ◇就学環境支援対策事業（1,844万円） ～農業の担い手として生徒を確保するため、生徒や保護者に各種支援を行います。 ・通学費全額補助（片道6km以上の路線バス及び自家用車送迎通学生徒） ・実習服購入費全額助成 ・資格検定料全額助成 ・給食提供 ◇海外研修事業（426万円） ～農業後継者育成や食品産業教育の一環として、例年数名の生徒を農業先進国へ派遣し研修を行っていますが、今年度より修学旅行の行き先を海外に見直した海外農業研修に置き換え、すべての生徒が海外の自然・生活環境や農業実務の基礎知識を理解することを目的に実施します。（今年度のみ両方の研修を実施） ◇農業高校体育館改築事業(3億5,015万円) ～老朽化した体育館を改築し、生徒の学習環境改善を図ります。今年度は建築主体工事、電気・機械設備工事、備品購入を行います。（令和2年度完成） ◇農業高校クラブ遠征支援経費（128万円） ～農業クラブのイベント参加・研究発表大会の遠征費のほか、部活動の遠征費の一部を補助します。
生涯学習推進のための経費（生涯学習課）	**597万円** 町597万円	生涯学習だよりの発行や生涯学習研修講座、成人式開催等のための経費です。
スポーツ合宿誘致推進事業（生涯学習課）	**278万円** 町95万円	◇スポーツ推進･振興事業（9万円） ～町外スポーツ団体への合宿支援品支給 ◇日本体育大学連携協定推進事業（269万円） ～「ラグビー部」合宿受入、「整列と行進」指導　他
体育施設運営経費（生涯学習課）	**1億8,236万円** 町1億8,236万円	総合体育館・運動公園・武道館・プール・テニスコート・野球場の運営管理について、指定管理者制度により（一財）中標津町文化スポーツ振興財団へ委託します。
埋蔵文化財分布確認調査事業（生涯学習課）	**181万円** 町91万円	平成29年度から発掘中の標津川9遺跡（西8条北5丁目）について、今年度も将来の土地利用のための試掘調査を行い、埋蔵文化財の分布範囲などを調査します。（札幌学院大学との連携協定事業）
社会教育施設運営・改修経費（生涯学習課）	**3億7,065万円** 町3億1,245万円	総合文化会館・図書館・交流センターの運営管理について、指定管理者制度により（一財）中標津町文化スポーツ振興財団へ委託するほか、施設改修を行います。（総合文化会館改修工事（大ホール照明設備改修･舞台吊物装置改修））

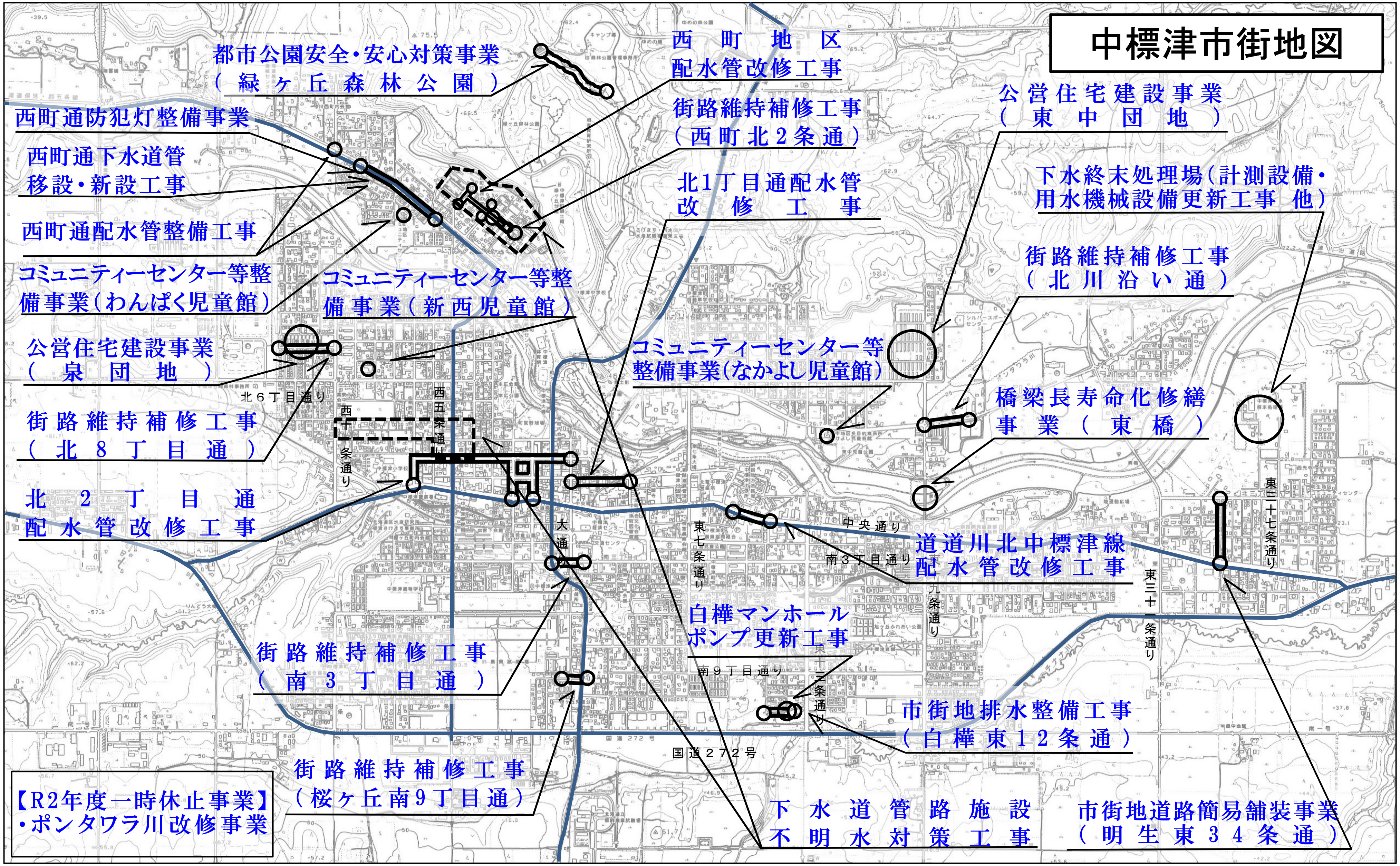
◆「人が輝き歴史と文化を育むまちづくり」に係る補助金・助成制度（抜粋）　（単位：万円）

名称	担当課	予算額	内容
スポーツ文化遠征費補助金	生涯学習課	500	児童生徒のスポーツ及び文化活動で遠征する団体や個人の遠征費を一部補助

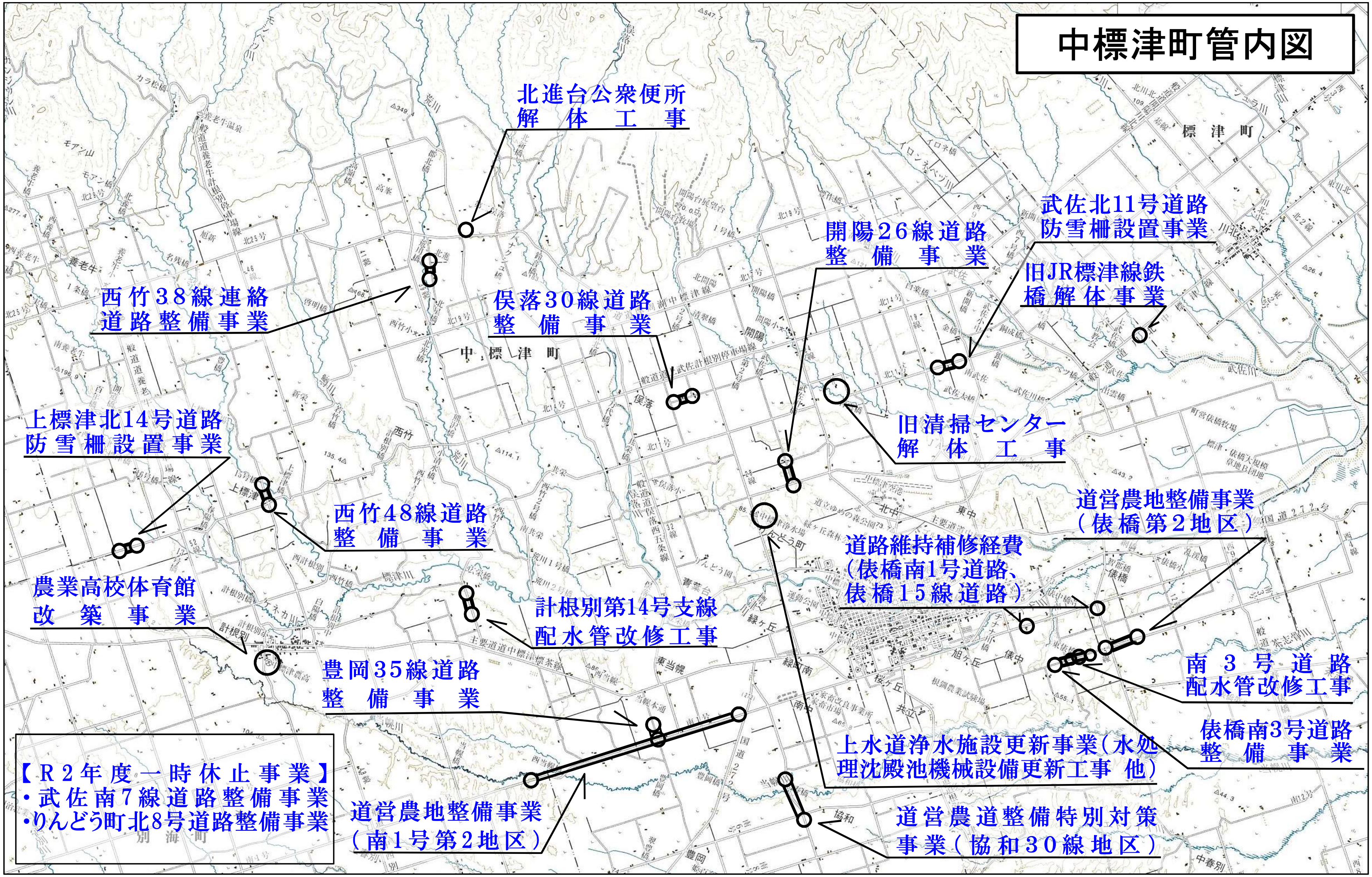
※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

新：新規事業　拡：拡充事業　町：町負担額

中標津市街地図



※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。



※各種事業は国の交付金や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等により変更することがあります。

町　民　憲　章

（昭和 40 年 7 月 1 日制定）

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

1　からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
1　誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
1　きまりを守り、明るいまちにしましょう
1　自然を愛し、美しいまちにしましょう
1　教養を高め、よりよい文化を育てましょう

【町の木】シラカバ

【町の花】エゾリンドウ

≪発　行≫　中標津町 総務部 企画課

〒086-1197　北海道標津郡中標津町丸山 2 丁目 22 番地
TEL (0153)73-3111　FAX (0153)73-5333
《中標津町ホームページ》
ＵＲＬ　http://www.nakashibetsu.jp/
メール　nakasi-t@aurens.or.jp
携帯サイト　http://j.nakashibetsu.jp/

空とみどりの交流拠点
中標津
～あつまるまち つながるまち ひろがるまち～

※この冊子は資源保護のため再生紙を使用しています。